

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20%	80%	0	広さはあるが、課題に集中できる使い方を工夫する必要がある
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	40%	0	多様な専門職がおり充実しているが、人員の確保は継続していきたい
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	100%	0%	利用者の利用するスペースに関しては、それぞれに合った環境となるよう心掛けているが構造上の問題もある。バリアフリー化は、段差など出来ていない所がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	60%	40%	0%	療育室に関しては、活動に合わせた配慮を行っている
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	100%	0	ミーティングや会議で意見を出し、業務改善につなげられるよう取り組み始めた
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0	0	保護者アンケートを取り、結果の開示を行った。また、いただいた意見を業務改善につなげた
	7	事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価および改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	20%	80%	今年度より公開することとし、事業所内掲示板への掲示を行った。今後、ホームページにて公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	100%	行えていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0	0	新人研修、および法人として年間計画を立て、定期研修会を行っている。また、業務に必要な研修を適宜受講している
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0	0	アセスメントを行い計画を立て、会議で確認している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20%	80%	0	アセスメントツールを利用しているが、利用者層の広がり適用できるように、再検討が必要。検討を開始している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ども支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	60%	40%	0	利用者の現状とニーズに合わせた支援の提供を考えている。ガイドラインおよび、それぞれの専門性を活かし適切な支援を検討し、実践している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	0	グループ、個別ともに行っているが、充実の余地がある
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0	0	利用者の課題に合わせて工夫している。スタッフ間で相談している
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100%	0	0	利用者の課題に合わせて検討している	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%	0	グループでは必ず行っており、個別でもプログラムによって必要時行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20%	80%	0	グループ支援では必ず、個別支援でも必要に応じ支援の振り返りを行うが、短時間となり深めきれないことがある
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0	0	支援終了後すぐに記入するよう、また、次の支援につながる記録を残すよう心掛けている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0	0	定期的にモニタリングし計画の見直しを行っている
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	20%	80%	0	管理者および児発管、担当者を含む児童指導員等が出席している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	80%	20%	0	必要に応じ連携している
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	100%	0	保護者が希望されたときや必要時に、保育所等と連絡を取ることがある
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報を提供と相互理解を図っているか	40%	60%	0	利用者からの希望があれば対応している
	25	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	100%	0	専門機関に研修を依頼し、定期的な勉強会を行っている
関係機関や保護者との連携	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流会や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	100%	ない
	27	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	0	100%	参加しているものもあるが積極的に行っていない。今後、連携を強められるよう取り組みたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0	0	個別療育であるため一定行っているが、じっくり話す時間を増やすための業務改善を行った
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	100%	行っていない
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0	0	契約時、変更時には必ず説明し、同意を得ている
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0	0	
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0	0	個別療育や送迎時に積極的に話をしているが、利用者(保護者)の希望もあり、面談等の時間保障の業務改善を行った
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	40%	20%	保護者会に場所の提供をしているが、支援は不足している。今後、検討予定
	34	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%	0	窓口を設置しているが、充実のため、ご意見箱の設置を行った

	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20%	80%	0	発信が不足していたため、会報の定期発行を行うこととした
	36	個人情報に十分注意しているか	60%	40%	0	注意し対応しているが、施設設備の整備も必要である
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0	0	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	20%	80%	行事参加など今年度は予定できていない
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	60%	40%	0	策定しているが、利用者向けに設置できていないため、利用者が手に取れる場所へ設置し周知を行う。訓練は実施できていないものもあるため今後行っていく
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0	0	訓練を行っているが、訓練の内容など今後も積み重ねが必要
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	0%	80%	20%	健康状態の把握には努めているが、具体的に足りていない所があった。今後、左記内容に関しても把握に努めたい
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%	0	研修を行っている
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0	100%	0	不十分な点があるため、見直しを行った。今後、身体拘束に関して職員が学びを深めていく機会を持つ。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	60%	40%	食事提供がないため医師の指示書の提出はないが、活動に合わせ対応している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	80%	20%	対応のマニュアルはあるが報告がほとんどあがっていない